

本日の検証について

2023年 12月 18日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 2023年度は、東京中部間連系設備の電源開発NWの佐久間東幹線（山線）他増強工事の継続的な工事費の変動状況モニタリングを行うとともに、引き続き東京電力PG、中部電力PGの工事費増額についての確認を進める。
- また、東北東京間連系線の東北電力NWの工事費増額についての確認を進める。

項目		2022年度			2023年度						
		第4四半期			第1四半期		第2四半期		第3四半期	第4四半期	
東京中部間 連系設備	新佐久間FC	電源開発NW	検証済み			今回					
	新富士変電所	東京電力PG	検証済み (増額内容の確認)			★	★	★	★	★	
	静岡変電所	中部電力PG	検証済み (増額内容の確認)			★	★	★	★		
	東清水線	東京電力PG	検証済み (増額内容の確認)			★	★	★		★	
	佐久間東幹線他	電源開発NW	検証済み (継続的に確認)			★	★	★	★	★	適宜確認
東北東京間 連系線	送電線新設工事	東北電力NW	検証済み (増額内容の確認)					★	★	★	適宜確認
	変電設備新設工事	東北電力NW	検証済み (増額内容の確認)					★	★	★	適宜確認
	鉄塔建替工事他	東京電力PG	検証済み								

<東京中部間連系設備 対象：東京電力PG・中部電力PG>

- 前回委員会では、「(A)工事費増加の要因確認とコスト低減に向けた検討」、「(C)プロジェクトの管理体制」についてご確認いただいた。本日は、「(B)調達プロセスについて（変電工事）」についてご確認いただきたい。
- なお、「(B) 調達プロセスについて（送電工事）」については、次回以降にご確認頂く予定。

<東京中部間連系設備 対象：電源開発NW>

- 佐久間東幹線（山線）他増強工事における工事費の状況について、これまでに電源開発NWから報告を受けた内容について、その状況を報告する。

<東北東京間連系線 対象：東北電力NW>

- 前回委員会では、東北電力NWが事業実施主体である工事件名について、東北電力NWから工事費増額の内容を説明した。
- 本日は、東北電力NWの工事費増額の確認について今後の進め方を整理したことから、その内容についてご確認いただきたい。

北海道本州間連系設備

運用容量：90万W→120万kW (+30万kW)

◆新北本容量：30万kW⇒60万kW

工事完了時期：2027年度末

東北東京間連系線

運用容量：573万W→1,028万kW (+455万kW)

工事完了時期：2027年11月

周波数
50Hz区域

周波数
60Hz区域

東京中部間連系設備

運用容量：210万W→300万kW (+90万kW)

◆新佐久間容量：30万kW⇒60万kW

工事完了時期：2027年度末

◆東清水FC：30万W⇒90万kW

工事完了時期：2027年度末

- 水力発電所
- ▣ 火力発電所
- 原子力発電所
- 変電所
- ⊗ 開閉所
- ▶ 交直変換所

